

V. 参 考 資 料

V - 1. 地球環境研究センターの沿革

V - 2. 地球環境研究センター出版物一覧

V - 3. 「地球環境研究センターニュース」見出し一覧

V-1. 地球環境研究センターの沿革 (1991.10~1993.3)

1991/	
10.25	平成3年度第2回北域観測所専門分科会開催 ＜参加委員＞ 太田幸雄（北海道大学工学部）、井上雄三（北海道大学工学部）
29	平成3年度第1回航空機観測専門分科会開催 ＜参加委員＞ 小川利紘（東京大学理学部）、中澤高清（東北大学理学部）、 鶴田治雄（農業環境技術研究所）
29	西岡総括研究管理官、IPCC全体会合、ガイドライン専門家会合（ジュネーブ）へ出席
29	社会環境システム部原沢英夫（センター併任）、GRID/Geneva、GRID/Ahrendale 協力 体制樹立のため出張
30	国際シンポジウム「生物学的多様性とその保全」日本学術会議講堂において開催 （主催：環境庁）
11.3~11	大気圏環境部井上 元（センター併任）、WMO（国際気象機構）インテグレイティッ ドモニタリングに関する専門家会議へ出席
7	中日自然資源・環境勘定ワークショップを開催 ＜中国側参加者＞ 団長：李慶偉（國務院発展研究中心副主任） 団員：魯志強（ “ 技経部副部長） 他6名
11	英国インペリアルカレッジ地球環境研究センター所長 I.Thornton “ 副所長 J.Gordon 氏訪問
19~21	市川国立環境研究所（以下、環境研）副所長、西岡、植弘研究管理官、日米科学ワー クショップ「地球変動」へ参加（つくば）
25	井上（大気圏環境部）、科学技術庁の「科学技術振興調整費による重点国際交流」事 業の一環として、オーストラリアCSIROと共同して92年3月に開催する国際ワークシ ョップの事前打ち合わせのため、メルボルン他へ出張
12.3	英国ハドレーセンター Dr.Bennet、環境研を訪問
5	オランダ運輸建設省 Dr.L.Bijlsma、海面上昇対策に関する打ち合わせのため訪問
8~14	西岡、原沢（社会環境システム部）、IPCC第2作業部会リードオーサー会議に出席 （ジュネーブ）
16~17	第2回地球環境研究者交流会議（以下、交流会議）を開催
18	メタンフラックスについての講演を開催 高橋邦秀（森林総合研究所北海道支所）ほか
1992/	
1.1	CGER研究管理官に原沢英夫が就任
4~13	西岡、原沢、IPCC第2ワーキンググループ編集会議出席のため、サンクトペテルスブ ルグへ出張
11~19	社会システム部 乙間末廣、IGBP/START会合のため、チェンマイへ出張
13	中村環境庁長官、環境研を視察
21	英国環境省主任科学官 Dr.Fisk、環境研を訪問
22	ドイツBMFT副所長 Dr.Menden、環境研を訪問
31	第1回定期航路モニタリング専門分科会 第1回対流圏機器開発・精度管理専門分科会 第5回波照間観測所専門分科会の合同開催 ＜参加委員＞ 植田洋匡（九州大学応用力学研究所）、大山峰吉（沖縄県公害衛生研究所） 菅谷芳雄（西表国立公園管理事務所）、竹内 正（環境庁大気規制課） 中澤高清（東北大学理学部）
2.6	第2回生物学的多様性モニタリング専門分科会開催 ＜参加委員＞ 岩槻邦男（東京大学理学部附属植物園）、大島康行（早稲田大学人間科学部） 小野勇一（九州大学理学部）、川那部浩哉（京都大学理学部） 瀬田信哉（環境庁自然保護局）、安野正之（環境研）
2.4~15	西岡、IPCC全体会合出席のため、ジュネーブへ出張

10	第1回オゾンライダーモニタリング専門分科会開催 第1回有害紫外線モニタリング専門分科会開催 ＜参加委員＞ 伊藤朋之（気象庁観測部高層課）、岩坂泰信（名古屋大学太陽地球環境研究所）、 小川利紘（東京大学理学部）
12	第2回日韓フェリーモニタリング専門分科会開催 第1回外洋モニタリング専門分科会開催 ＜参加委員＞ 津田良平（近畿大学農学部）
14	気体フラックス測定法研究会開催 ＜主な講演者＞ 植田洋匡（九州大学応用力学研究所）、大滝栄治（岡山大学教養部） 古賀隆治（岡山大学工学部）、原園芳信（農業環境技術研究所）
20～21	第6回波照間観測所専門分科会開催 ＜参加委員＞ 金城義勝（沖縄県公害衛生研究所）、下 道國（名古屋大学工学部）
26	第2回発生源モニタリング専門分科会開催 ＜参加委員＞ 平木隆年（兵庫県立公害研究所）、平野耕一郎（横浜市環境科学研究所）
2. 23～29	地球環境研究グループ 森田恒幸、環境資源勘定に関する出席のため、UNEP本部（ナイロビ）へ出張
3. 8～15	南半球大気微量成分協同観測ワークショップをメルボルンにて開催 ＜講演者＞ G. Ayers, D. Beardsmore, M. Raupach, R. Francey, P. Fraser, I. Galbally, R. Gillett, J. Gras, C. Meyer, G. Pearman, P. Steel（以上CSIRO /オーストラリア）, J. Ivey (AGAL /オーストラリア), S. Whittlestone (ANSTO /オーストラリア), S. Wilson (Wollongong Univ. /オーストラリア), D. Lowe, M. Manning (DSIR /ニュージーランド), N. Trivett (Gas Standards Laboratory /カナダ), P. Tans (Climate Monitoring and Diagnostics Laboratory /U.S.A.), 伊藤朋之（気象庁観測部）、植田洋匡（九州大学応用力学研究所）、 竹内義治（(財)地球・人間環境フォーラム）、鶴田治雄（農業環境技術研究所）、 中澤高浩（東北大学理学部）、巻出義紘（東京大学アイソトープ総合センター）、 松枝秀和（気象研究所）、山本 晋（資源環境技術総合研究所）、 秋元 肇、泉 克幸、井上 元、植弘崇嗣、内山政弘、野尻幸宏、 藤沼康実、荒木真一（環境研）
16～23	ロシア共和国永久凍土研究所長 R. M. Kamenskii, 部長 V. N. Makarov, モスクワ大学助教授 A. A. Arkhangelov シベリアにおける共同研究の打ち合わせのため環境研を訪問
23～29	ロシア共和国中央大気観測所副所長 V. U. Khatatov, 同飛行センター部長 N. K. Vinnichenko シベリアにおける共同観測の打ち合わせのため環境研を訪問
23	平成3年度地球環境モニタリング検討会 生物圏モニタリング分科会開催 第1回生物学的多様性モニタリングワーキンググループ開催 ＜出席者＞ 安部琢哉（京都大学生態学研究センター）、井上 勲（筑波大学生物科学系）、 川井浩史（北海道大学理学部）、戸部 博（京都大学教養部） 出口博則（高知大学理学部）、林 良博（東京大学農学部） 樋口広芳（(財)日本野鳥の会研究センター）
25	スーパーコンピュータ稼働記念式典開催（環境研）
29	植弘、地球環境研究へのスーパーコンピュータ利用調査のため、トロント、ニュー ーク、デンバー、ロサンゼルスへ出張
30	波照間－地球環境モニタリングステーション完成
4. 1	地球環境研究センター長に鈴木継美（前環境健康部長）が就任
17	平成4年度地球環境モニタリング検討会 機器精度管理分科会開催

	第1回対流圏機器精度管理専門分科会の開催 <参加委員> 中澤高清（東北大学理学部）
23	平成4年度地球環境モニタリング検討会 生物モニタリング分科会開催 第1回生物学的多様性モニタリング専門分科会の開催 <参加委員> 岩槻邦男（東京大学理学部）、大島康行（早稲田大学人間科学部） 小野勇一（九州大学理学部）、川那部浩哉（京都大学理学部） 瀬田信哉（環境庁自然保護局）、千原光雄（日本赤十字看護大学） 安野正之（環境研）
5. 10～14	西岡、温暖化対策セミナー出席のためインドネシアへ出張
11～25	波照間-地球環境モニタリングステーション立ち上げのため、担当研究者現地入り 大気圏環境部 泉 克幸、内山政弘
5. 18	平成4年度地球環境モニタリング検討会生物モニタリング分科会開催 第1回生物学的多様性モニタリングワーキンググループの開催 <参加委員> 井上 勲（筑波大学生物科学系）、井上民二（京大大学生態学研究センター）、 川井浩史（北海道大学理学部）、出口博則（高知大学理学部）、 戸部 博（京都大学教養学部）、西平守孝（東北大学理学部）、 林 良博（東京大学理学部）、樋口広芳（(財)日本野鳥の会研究センター）、 矢原徹一（東京大学教養学部）
19	地球環境研究等企画委員会-平成4年度第1回モニタリング小委員会開催
21	平成4年度地球環境モニタリング検討会生物モニタリング分科会開催 第2回生物学的多様性モニタリング専門分科会開催 <参加委員> 岩槻邦男（東京大学理学部）、大島康行（早稲田大学人間科学部） 川那部浩哉（京都大学理学部）、瀬田信哉（環境庁自然保護局） 千原光雄（日本赤十字看護大学）、安野正之（環境研）
21	「GRIDワークショップ」開催 <参加者> アトニ・フェルナンデス（国連地域開発センター/UNCRD） 井出慎司（滋賀県国連環境計画施設開設準備室） 菅 雄三（広島工業大学）、中山幹康（宇都宮大学） 堀 悌二（北九州市環境局）、山本巧（(財)地球環境センター）、 横山隆三（岩手大学）
6. 5	大阪府の地球環境問題への取り組みについての調査のため、西岡、和田観測第二係長 大阪府環境保健部環境局へ出張
6	環境月間の行事の一環として実施された環境研一般公開にて、CGER紹介パネルを展示
11	平成4年度第1回CGER運営委員会を開催
15	CGERセミナー「地球環境問題における環境アセスメントの役割」を開催
24	日米科学技術協力協定に基づく平成4年度第1回日米ワークショップ実行委員会事務局 局会合に大坪主任研究員が出席
25	波照間-地球環境モニタリングステーション竣工式典を現地波照間島で開催 中村正三郎環境庁等長官出席
29	IGBPアジアシンポジウム実行委員会に大坪が出席
29	CGERセミナー「シベリア観測プロジェクト」を開催
7. 3	水圏環境部セミナー「陸水モニタリング」を開催
6	シベリア上空における温室効果ガスに係る航空機モニタリングの実施について記者発 表（CGER）
6	平成4年度地球環境研究総合推進費（以下、推進費）による地球環境研究の実施につ いて記者発表（地球環境部）
9	平成4年度地球モニタリング第1回日韓フェリーモニタリング分科会に植弘、工藤業 務係長が出席
10	平成4年度第2回日米ワークショップ実行委員会事務局会合に大坪が出席
17	IGBPシンポジウム・プログラム委員会に西岡、和田が出席
17～30	推進費分野別研究分科会の開催（地球環境部）

31	スーパーコンピュータ関連研究ステアリンググループを開催
31	地球サミット報告会を開催
3	第1回インドネシア環境管理センタープロジェクト国内委員会（IICA）に大坪が出席
3	日米ワークショップ実行委員会第3回事務局会合（東京）に大坪が出席
4	CGERセミナー「環境政策支援システムと地球環境問題」を開催
10～12	Dr. Mooneyhan（元GRIDスウェーデン デルフト）来所、GRIDつくばの活動に関する意見交換
18	スーパーコンピュータユーザーズミーティングを開催
19	IGBPシンポジウムプログラム委員会に西岡、和田が出席
21	韓国海洋研究所所長ほか2名来所
24	CGERセミナー「シベリア上空航空機観測についての帰国報告会」を開催
25～9.1	西岡がIPCCのためにスイスに出張
8.27	日米ワークショップ実行委員会第4回事務局会合に大坪が出席
9.1～2	推進費による熱帯林研究成果中間報告会「熱帯林生態系の解明を目指して」の開催
3	地球環境経済モデル検討会の開催
3	アースウォッチリサーチディレクター Dr. Silverberg来所、アースウォッチの活動について講演会を開催
4	Indonesia BAPEDAL Environment Management Center の関係者が来所
14～16	西岡がIPCCカントリースタディワークショップのため米国に出張
17	カナダベースライン計画 Dr. Trivett、Dr. Solomonが来所、カナダの地球環境モニタリングについての講演会を開催
21	推進費研究「オゾン層の破壊」分野の研究連絡会議の開催
22	ブループラネット賞受賞 真鍋淑郎氏、英国IIED代表者来訪
28	日本学術会議IGBP国際シンポジウムプログラム委員会に西岡、大坪、和田が出席
30	推進費研究「酸性雨」分野の研究連絡会議の開催
10.1	CGER研究管理官に大坪國順が就任
1	推進費研究「海洋汚染」分野の研究連絡会議が東京で開催される
1	推進費研究「温暖化対策」分野の研究連絡会議が東京で開催される
4～10	西岡がインドネシアに出張
12	米国国務省 E. Stockton氏ほか2名来所
	アラスカ大学地球物理学研究所長 赤祖父俊一氏来所
12	地球環境研究モニタリングに関する第2回フリートーキングを開催
14	推進費研究「自然環境勘定ミーティング」が東京で開催される
16	地球環境モニタリング検討会第1回波照間ステーション専門分科会を開催
	岐阜医療技術短期大学 下教授が出席
19	客員研究官会議を東京で開催
19	推進費研究「砂漠化」の分科会が東京で開催される
22	推進費研究「温暖化（影響対策）」の分科会が東京で開催される
22	アジア太平洋地域地球変動研究ネットワーク（APN/GCR）ワークショップ事務局会合に大坪が出席
22	地球環境モニタリング第3回フリートーキングを開催
23	宮澤総理大臣環境研視察
26	推進費研究「温暖化（現象解明）」の分科会が東京で開催される
26	第3回交流会議及びIGBPシンポジウムについて記者発表
26	オランダ環境省 B. Metz氏来所
27	UNEP国際環境技術センター開設記念シンポジウムに西岡が出席
27	推進費研究「熱帯林・野生生物の減少」の分科会が東京で開催される
28	地球環境モニタリング検討会第1回北域ステーション専門分科会及び現地調査を北海道で開催
	北海道大学 太田助教授が出席
29	推進費研究「酸性雨」の分科会が東京で開催される
29	日中科学技術シンポジウム中国側代表団来所
30	推進費研究「オゾン層の破壊」の分科会が東京で開催される
30	APN/GCRワークショップ事務局会合に大坪が出席
11.1	中島興基主任研究官がCGERに併任
5	地球環境研究等企画委員会「海洋汚染」研究分科会が東京で開催される
6	APN/GCRワークショップ準備会合が開催される

6~17	西岡がIPCC第8回会合に出席するためジンバブエに出張
9	IGBPシンポジウムプログラム委員会が東京で開催される
13	APN/GCRワークショップ準備会合が開催される
16	GRID-Bangkok Dr. Pierre Detournyが来所する
17	韓国 Dr. Kyungsook Kinがリモートセンシング関係で来所する
18	シベリア航空機調査に係る報告会を開催
19	成層圏変化検出のためのネットワーク(NDSC)日本ワークショップが開催される
20	地球環境研究等企画委員会が環境庁で開催される
20	地球環境研究等企画委員会地球環境研究小委員会が環境庁で開催される
20	APN/GCRワークショップ準備会合が開催される
21~22	地球環境モニタリング検討会 第2回波照間ステーション専門分科会現地指導 (岐阜医療技術短期大学 下教授、沖縄県公害衛生研究所 金城主任研究員が出席)
25	地球環境モニタリング検討会 第2回波照間ステーション専門分科会を波照間島で開催する (九州大学 植田教授、東北大学 中澤助教授、東京大学 巻出教授、 沖縄県公害衛生研究所 宮国部長、西表国立公園管理事務所 藤田所長が出席)
30	第3回交流会議を環境研大山ホールにおいて開催
12.1	CGER研究管理官に古田直紀が就任
1~2	IGBPシンポジウム(地球環境変化に関するアジアシンポジウム)を日本学術会議と共同で開催
3~4	APN/GCRワークショップが東京で開催される
6~14	大坪が砂漠化共同研究の打合せのためにインドへ出張
8	Dr. D. S. Wrattが来所
9	地球環境経済モデル検討会を開催
14	国連大学 Heitor Gurgulino de Souza学長らが来所
14	第3回CGER運営委員会を開催
15	IGBPシンポジウム実行委員会プログラム委員会が東京で開催される
15~19	西岡が地球環境モニタリング国際会議に出席するためアメリカへ出張
16	韓国科学技術研究所 Dr. Sung-Nam Ohが来所
16	インド科学技術省 Dr. Malti Goelが来所
21	平成5年度予算政府原案内示
1993/	
1.2~9	西岡がアジア開発銀行による中国温暖化対策調査のため中国に出張
5~26	平成5年度推進費研究応募課題ヒアリングに関係者が出席
11	地球環境モニタリング幹事会を開催
12	スーパーコンピュータユーザーズミーティングを開催
14	タイ国ERTC環境質モニタリング科長 Pornthip Pancharoen氏が来所
18	第4回CGER運営委員会を開催
19~20	IPCC第2作業部会A(エネルギー/都市/廃棄物等)が四日市で開催される(西岡出席)
22	日米ワークショップ最終事前打ち合せ会議が東京で開催される(大坪出席)
26	第5回CGER運営委員会を開催
27	シベリア永久凍土総合調査シンポジウムが北海道大学で開催される
28	ロシア共和国凍土研究所 V. V. Kunitsky博士、ヤクーツク生物研究所 N. G. Solomonov博士、モスクワ大学 A. Archangelov教授が来所
1.31~2.14	西岡、原沢が地球温暖化影響評価に関する調査及びIPCC第2作業部会に出席するためスイス、イギリスに出張
2.1~3	原沢がUNEP/GRIDのファシリティ・マネージャー会合に出席(スイス)
1~4	大坪が第2回地球変動研究日米ワークショップに出席するため米国に出張
8~9	IGBP国内シンポジウムに出席(東京)
16	第6回CGER運営委員会(モニタリング事業方針)を開催
18	ワールド研究所主催座談会(東京)
	推進費研究「熱帯林・野生生物種の減少」の分科会に出席(環境庁)
22	推進費研究「地球温暖化現象解明」の分科会に出席(環境庁)
23	地球環境研究等企画委員会モニタリング小委員会に出席(環境庁)
24	推進費研究「海洋汚染、地球温暖化影響対策」の分科会に出席(環境庁)
25	イオングループ環境財団企画委員会出席(東京)

	APN/GCR関係省庁連絡会議に出席（東京）
26	インドネシア国温暖化調査・第3回調査指導委員会に出席（東京）
	コスモプランⅢ検討会を開催（東京）
	推進費研究「酸性雨」の分科会に出席（環境庁）
3.1	CGER運営委員会開催
1～3	古田がGEMS/WATERフェーズ2のAQC検討会議に出席するためカナダに出張
2	推進費研究「砂漠化」の分科会に出席（環境庁）
4	APN/GCR構想各省庁連絡会議に出席（東京）
5	地球環境研究小委員会に出席（環境庁）
	文部省地球環境変動シンポジウムに出席（東京）
8	GEMS/WATERに関する打ち合せ（環境庁）
9	地球環境研究等企画委員会に出席（環境庁）
10	ASCA(Association for Science Cooperation in Asia)高等事務次官会合にオブザーバー出席（環境庁）
18	CEES(Committee on Earth and Environmental Sciences of the U.S.A) Dr. Sylvia Edgerton来所
18	環境政策勉強会（環境庁）
19	温暖化セミナー（タイ）に関する打ち合わせ（環境庁）
22	「海面上昇問題に関する東半球国際会議」に関する準備会合に出席（東京）
23	スーパーコンピュータによる地球環境研究ワークショップを開催
3.25～4.3	大坪がOECDメガサイエンスフォーラム地球変動研究専門家会合に出席するためアメリカに出張
3.28～4.3	西岡、和田が第2回アジア・太平洋地域温暖化セミナーに出席するためタイに出張

V-2. 地球環境研究センター出版物一覧 (CGERシリーズ)

CGER. NO.	題 名
01-'90 *	地球環境研究検討会報告書
02-'90	アジア太平洋地域における地球温暖化問題に関する研究ワークショップ
A001-'91	地球環境研究センター年報
D001-'92	GRID-TSUKUBA
D002-'92	国際研究計画・機関情報
I001-'92	GLOBAL WARMING AND ECONOMIC GROWTH
I002-'92	第2回地球環境研究者交流会議報告書 「各省庁における地球環境研究への取り組み状況について」
I003-'92	第2回地球環境研究者交流会議報告書 「地球環境保全と経済成長－我国の数量モデルの展望」
I004-'92	地球温暖化研究のあり方とIPCCへの取り組み－有識者意見集－
I005-'92	PRELIMINARY GUIDELINES FOR ASSESSING IMPACTS OF CLIMATE CHANGE
I006-'92	気候変動影響評価のための予備的ガイドライン
M001-'92 *	WORKSHOP FOR TRACE GAS MEASUREMENT IN BOTH HEMISPHERES
M002-'92 *	1991年度地球環境モニタリング年次報告書<概要版>
G001-'93	アジア太平洋地域における社会経済動向基礎調査データ<各国別資料集>
I007-'93	第3回地球環境研究者交流会議報告書 「地球環境国際共同研究の現状と今後のあり方」
I008-'93	PROCEEDINGS OF ASIAN SYMPOSIUM ON GLOBAL ENVIRONMENTAL CHANGE 1993
M003-'93	1993年度地球環境モニタリング年次報告書

* 印のものは残部なし

V-3. 「地球環境研究センターニュース」見出し一覧

テ　　マ	号数	ニ　ュ　ース　見　出　し
交　　流	2-6	国際シンポジウム「生物学的多様性とその保全」の開催について
	2-6	第2回地球環境研究者交流会議の開催について
	2-6	地球環境研究をいかに進めるかー研究者たちの意見
		地球環境研究のボトルネックとその打開策
	2-7	第2回地球環境研究者交流会議内容決定
	2-8	「生物学的多様性とその保全」に関する国際シンポジウム
	2-9	第2回地球環境研究者交流会議開催さる
	2-10	第2回地球環境研究者交流会議に関するアンケート調査結果報告
	2-11	国連環境計画(UNEP)環境に関する国際開発制度委員会(CIDIE)主催 環境資源勘定に関するワークショップ
	3-1	交流会議に想うこと
	3-1	地球環境研究センタースタッフ紹介
	3-4	地球サミット報告会
	3-6	第3回地球環境研究者交流会議、IGBPシンポジウムプログラム決定!
	3-7	客員研究官会議開かれる
	3-8	第3回地球環境研究者交流会議開催さる
	3-9	アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)に関するワークショップ開催さる
	3-9	IGBP-STARTについて
	3-9	IGBPシンポジウムを開催して
	3-11	第2回アジア・太平洋地域温暖化セミナーについて
	4-1	公開講演会「地球環境科学の総合的展開」
	4-4	環境技術分野における開発途上国との共同研究に関するセミナー
I P C C 関 連	3-6	UNCEDとIPCC、IPCCカントリースタディワークショップ
	3-7	インドネシアのカントリースタディ
	3-8	第二期の始まり、新たな3つの部会
	4-1	IPCC第2作業部会会合の進展
	4-3	経済評価・将来シナリオの検討始まる(第3作業部会モントリオール会合)
	4-3	クリントン政権下の地球環境研究の方向
	4-5	第二次評価報告書に向けての作業開始
	4-5	IPCC第3作業部会リードオナー会議に参加して
デ　ー　タ　ベ　ース	2-11	「UNEP/GRID-つくば」データ提供開始
	3-2	GRIDワークショップ開かれる
	3-5	誰でも分かるGRID ① GRIDとは?
	3-6	誰でも分かるGRID ② 世界のGRIDセンター
	3-7	誰でも分かるGRID ③ GRID-つくばの使命
	3-8	誰でも分かるGRID ④ GRIDの地球規模のデータ I
	3-9	誰でも分かるGRID ⑤ GRIDの地球規模のデータ II
ス　ー　パ　ー　コ　ン　ピ　ュ　ー　タ	2-7	スーパーコンピュータ、モニタリングステーション　その概要
	3-1	スーパーコンピュータ利用開始
	3-2	スーパーコンピュータ運用状況
	3-11	スーパーコンピュータによる地球環境研究ワークショップ開催さる
モ　ニ　タ　リ　ン　グ	2-7	ヤクーツク探訪(前編)
	2-8	環境に係る総合モニタリングについて(1)
	2-8	ヤクーツク探訪(後編)
	2-9	環境に係る総合モニタリングについて(2)
		世界気象機構(WMO)総合モニタリング専門家会議
	3-1	南北半球大気微量成分共同観測ワークショップ開催
	3-3	波照間ー地球環境モニタリングステーション竣工記念式典報告
	3-5	シベリア上空航空機観測無事終了す!
	3-8	成層圏変化検出のためのネットワーク(NDSC)日本ワークショップ
	3-10	オゾン層保護対策の一層の推進に向けて
	4-2	航空機モニタリング成果報告/計画検討会報告
	4-5	メタンの連続測定・フラックスの測定に成功　シベリアの航空機モニタリング

テ ー マ	号数	ニ ュ ー ス 見 出 し
海外出張報告	3-9	WRI/Caltech地球環境モニタリングワークショップ
	3-9	中国の温暖化影響研究調査（アジア開発銀行） 「地球規模の気候変動への国家対応戦略」
	3-10	GRIDファシリティ・マネージャー会合報告
	3-10	第2回地球変動研究日米ワークショップに参加して 地球環境変動の軽減及び適応の研究戦略
	3-11	OECDメガサイエンス・フォーラム地球環境変動研究専門家会合の報告
	4-2	HDP/DISワークショップ報告
	4-2	市場経済と環境の調和を目指す中国
	4-4	環境リスク評価法による政策優先順位づけワークショップ
	4-4	21世紀初頭の環境情報ニーズに応える技術に関するワークショップ(WRI/Caltech)
地球環境研究 と地方自治体	3-5	大阪府
	3-7	北九州市
	3-9	愛知県 愛知県における地球環境問題への対応戦略
	3-11	北海道「北方圏フォーラム」
	4-1	横浜市
	4-2	兵庫県
	4-3	沖縄県 沖縄県公害衛生研究所におけるJICA研究員の受け入れ状況について
	4-4	神奈川県 エコサイクル社会かながわの実現に向けて
その他	2-9	平成4年度地球環境研究センター予算（政府原案）
	2-10	巻頭言 「地球環境研究のうねりに思う」 地球環境研究センター長 市川惇信
	3-1	巻頭言 「地球を身近に感じる為に」 地球環境研究センター長 鈴木継美
	3-3	平成4年度地球環境研究総合推進費の執行承認される
	3-6	地球環境研究総合推進費研究中間報告会 「熱帯林生態系の解明を目指して」
	4-5	平成5年度地球環境研究計画決定（地球環境研究総合推進費による）

* 残部状況についてはお問い合わせ下さい

地球環境研究センター年報
(1991年10月～1993年3月)

1993年12月発行

発行 環境庁 国立環境研究所
地球環境研究センター

〒305 茨城県つくば市小野川16-2
電話 0298-51-6111 (代表)

印刷 アサヒビジネス株式会社
〒305 茨城県つくば市竹園2-11-6